

無菌顎印象を一回で決める！

村岡 秀明

(千葉県市川市開業)



図1



図2



図3



図4



図5



図6



図7



図8



図9

無菌顎印象は、採ろうとしている顎堤の形とトレーの形が、近ければ近いほど、上手な印象が採れます。すなわち、既製トレーよりも個人トレーのほうがよく採れますし、その最たるものが、治療用義歯による印象でしょう。

しかし、個人トレーや治療用義歯を使って印象するという事は、手間もかかりますし、当然のことながら、経費も多くかかるといことになります。そこでなんとか既製トレーとアルジネートだけで無菌顎印象が採れないか、ということになるわけですが、実のところ、手間をかけて個人トレーで印象したほうが、のちのちのト

ラブルが少なく、結局はそれほど早いということになることが多いのです。しかし、臨床ではなるべく簡便にということも大切な要素です。

ここら辺が日頃のジレンマで、質の向上を目指すと同様に手間がかかりすぎ、省力化を図ると質の低下をきたしやすく、これが悩みの種なのです。ところがそれを解決する素晴らしいトレーがヨシダから発売されました。ポーターロックトレーです。形がよい、合わせやすい、印象材がトレーから外れにくく外しやすい、など数々の利点があります。

このポーターロックトレーと、

パテタイプおよびインジェクションタイプのシリコン印象材をうまく組み合わせると、1回で個人トレーによる印象と同じものが採取できます。まさに、質の向上を目指しながら省力化を図るとい、高齢化社会にピッタリのトレーであると思います。そこで、今回はアルジネート印象を中心に、ポーターロックトレーの使用法を解説してみたいと思います。

図1 付属のキャリパーを使ってトレーを選択します。上下それぞれ5個ずつで、数が少ないために選択が容易です。

図2 下顎は、キャリパーで左右



図10



図11



図12



図13



図14



図15



図16



図17



図18

レトロモラーパッドの舌側間の距離を測ります。トレーの舌側後縁部がパッドと舌の間に入るようにするわけです。

図3 トレーを口腔内に試適してみます。トレーが顎堤に接触して痛いという印象がうまく採れません。

図4、5 通常の混水比で練和したアルジネートで、第一回目の印象を採ります。長すぎるところ、分厚く採れてしまったところをナイフで切って、形を作ります。2重印象をするわけですから、第一回目の印象が個人トレーの役割をするのだと思ってください。

図6 第2回目のアルジネートは、水を2~3割多めに練和します。水は冷蔵庫に入れて冷やしておいたものを使います。練和器にかける前に、この中で粉と水を十分に混ぜておきます。

図7 練和には、トルネード舞を使います。2回目は水の量が多いため、スパチュラとラバーボウルによる手練りでは均等に練和することが難しいからです。

図8 トルネード舞は最長練和時間が16秒です。その最長時間に合わせて。そのためにも、水は冷蔵庫に入れておいた冷水を使うほうが安心です。

図9 水の量が多めであるのと、トルネード舞による練和のために、アルジネートが気泡のないクリーミーなものに仕上がっています。

図10 それを図4で採られた第一回目の印象の上に塗りつけて、口腔内に入れます。

図11 総義歯らしい形に印象が採得できました。支持域である頬棚や舌側辺縁形態、パッドのところなどがうまく取り込まれていると思います。これは術者の腕が良いのではなく、このボーダーロックトレーの形が良いからなのです。

図12、13、14

下顎顎堤がかなり吸収している症例です。頬側は少し大きめに採れていますが、舌側から舌側後縁部、そしてパッドのところまで、必要なところは取り込まれている

と思います。

図15、16 このボーダーロックトレーを使えば、上顎のアルジネート印象はもっと簡単です。それは先ほども申し上げたように、トレーの形が良いからです。

図17、18 ボーダーロックトレーでシリコン印象をしたものです。トレーにパテタイプとインジェクションタイプのシリコン印象材を使用して1回で個人トレーなみの印象を採ることが可能です。

まさに、無菌顎印象を1回で決めることができるということです。そしてそれは決して妥協したような印象ではなく、まさに「質の向上を目指しながら、省力化を図る」という、これからの無菌顎印象にもっとも要求されることを、このボーダーロックトレーが実現させてくれています。

一次印象が最終印象。



- 顎堤の吸収度合に関係なく、最高の印象が採得できるようデザイン・設計されています。
- 専用キャリバーによるサイズ計測で、患者さんに最も適したトレーを選択できます。
- 解剖学的理論（患者さんの左右臼後三角遠心を結ぶ線は、ほぼ同一水平線上にある）に基づき、アルジネートおよびシリコン印象材による無歯顎単一印象法に使用できる、最高のトレーです。
- 耐熱樹脂製なのでオートクレーブ滅菌が可能です。

無歯顎用トレー

ボーダーロックトレー

New

●セット内容：無歯顎用／上顎用5個、下顎用5個、サイズ計測用キャリバー ●標準価格：28,000円（税別）●商品番号：13BY0130



既製のトレーとしては
完成されたトレーであると実感しています。

村岡秀明先生（千葉県市川市開業）

無歯顎印象用「ボーダーロックトレー」は、日常臨床に最適だと実感しています。上下各5種類のサイズが用意されており、付属のキャリバーで顎の大きさを計測し、トレーを選択いたしますが、数が多すぎず、最適なトレーの選択が容易です。また、無歯顎臨床では、通常一次印象後、各個トレーによる二次印象が必要だと言われています。しかし、この「ボーダーロックトレー」を使用すれば、一次印象を最終印象とすることが可能です。それはこのトレーの形態が優れているからだと思います。そのために、顎堤の吸収が激しい症例でも、義歯の維持安定に必要な部分を確実に取り込んだ印象を採得することができます。「ボーダーロックトレー」は、質の向上を目指しながら、省力化を図るという、日常臨床に最も必要な部分を押さえているわけで、既製トレーとしては完成されているものであると実感しています。

